

患者の皆様へ

2022年12月9日

肝胆膵外科

現在、肝胆膵外科では、「転移性肝腫瘍における腫瘍進展メカニズムの解明」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2000年～2021年に転移性肝腫瘍に対して手術施行した患者様の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「転移性肝腫瘍における腫瘍進展メカニズムの解明」

2. 研究の意義・目的

転移性肝腫瘍は外科的根治手術が可能であっても、術後に再発を来すことのある疾患です。そこで本研究では、転移性肝腫瘍に対して手術を施行された患者様の切除標本を解析し、転移性肝腫瘍の進展メカニズムを解明することで、個別化治療法を見出し、予後を改善することを目的としております。

3. 研究の方法

大腸癌肝転移などの転移性肝腫瘍の診断で2000年以降に当科にて根治手術を施行され、病理用パラフィンブロックが作成されて保管されている患者様が対象です。対象患者様の病理用パラフィンブロックを使用して各種免疫染色や蛋白発現を解析し、各患者様の臨床病理学的因子や予後との関連を評価します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名を削除して特定の個人が容易に識別できないように加工をして利用します。研究用のIDを付与し、氏名とIDを一致させるための対応表を作成致します。加工された情報及び対応表は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をし

ますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院肝胆膵外科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院肝胆膵外科

医師 小西孝宜

043（222）7171 内線5282

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

患者の皆様へ（例）

2014年3月23日
放射線科

現在、放射線科では、乳がんの放射線治療による副作用に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2000年1月～2015年12月に当院で放射線治療を受けられた患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「乳がん放射線療法による有害事象発生と関連因子の解析」

2. 研究の意義・目的

「放射線治療による副作用の発生を予防・減少させ、放射線治療を安全に受けて頂くための方法を開発する」

3. 研究の方法

「平成〇年〇月〇日から平成〇年〇月〇日の間において、診療録に記載されている身長、体重、病歴、血液検査値、放射線治療の方法と副作用の程度の関連を調べる」

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院〇〇研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院放射線科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院放射線科

医師 千葉太郎

043 (222) 7171

内線6942 (放射線科受付)

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。